

高見 裕子



【経歴】

1988年3月 九州大学薬学部卒業。地元（愛媛県今治）の私立病院にて薬剤師として2年間勤務。この時、医師、特に外科医に憧れを抱く。

1990年4月 長崎大学医学部入学。

1996年3月 同卒業後、長崎大学第二外科（現 移植消化器外科）入局。

長崎大学、九州医療センターにて研修、その後、長崎県立島原温泉病院（現 島原病院）、長崎労災病院、国立療養所村山病院に外科医として勤務。

2002年4月 九州医療センター肝臓病センター外科専任レジデント、同年9月より外科スタッフ。

2011年7月 同肝胆膵外科科長

【資格】

日本外科学会認定医・専門医・指導医

日本消化器外科学会専門医・指導医

日本肝臓学会認定肝臓専門医

日本消化器病専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

消化器がん外科治療認定医

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医

【メッセージ】

外科医の道を選択して17年が経ちました。幸い、これまで女性ということでハンディを感じたことはありませんでした。これは周囲の恩師、先輩方のご配慮があつてのことと思いますが、また、おそらく、外科医の道とは、歩む“ひと”そのものが評価されるのであつて、“性別”が問われる性質のものではないからだとも思います。

自分を女性だからと躊躇する前に、まずは飛び込んでみて、恥じない生き方をすればよいだけだと思います。

とはいえ、やはり、女性には家事、出産、育児、さまざまなこととの両立が必要でしょう（私にはそういう幸せは巡って来ませんが、、、）。

でも!!、外科はチームプレーの世界ですから、いざ、その時には、いろんなサポートが周

困から可能な分野だと思います。

さあ、手術をして、自分の手で命を救う、その喜びを一緒に実感しましょう!!